



日本シリーズで活躍を！松山選手後援会設立

1月18日（土）、あすばる大崎において、本町飯隈上集落出身で広島東洋カープ松山竜平選手の後援会設立式が行われました。

設立式には、スポーツ少年団時代の恩師や友人、また、鹿児島市の私設応援団『鹿鯉会』のメンバーを含め約20名が参加しました。

後援会会長の本高勝義さん（高井田集落）は、「大崎町には4名もプロ野球選手がいる。この会を起爆剤に、みんなで応援できる環境をつくりたい。」と設立の経緯を話し、松山選手は、「日本シリーズに来てもらい、活躍する姿を見せたい。」と決意を語りました。



▲松山選手の今後のご活躍を期待します！



宇宙へ興味津々！立志式講演会

2月5日（水）、大崎第一中学校（今村克行校長、生徒数66名）において立志式があり、その中で鹿児島大学大学院理工学部研究科の西尾正則教授が、『鹿児島で生まれた人工衛星、宇宙へ』と題して、生徒たちに対して記念講演会を行いました。

これは、町内野方にある鹿児島大学活性化センターと大崎ものづくりネットワーク振興会が企画したものです。

西尾教授は、鹿児島大学と県内企業が共同開発した超小型衛星『K S A T 2』のプロジェクト責任者で、人工衛星、ロケットなどの映像に併せてクイズを出すなど、終始笑顔で話され、生徒たちは宇宙について理解を深めました。



▲講演を行う西尾正則教授



インドネシアの教育関係者ら来館！ものづくり会館

JICA 青年研修インドネシア（初中等教育行政コース）の研修団14名が、2月11日（火）、大崎ものづくり会館を訪れました。

これは、大隅地区の小・中・高校等を訪問し、各学校の概要・教育方針を学び、教員との指導方針についての意見交換を行うことを目的に実施されたもので、本町が行っているインドネシアとの国際交流や技術支援の取り組み等について、ものづくり会館国際交流スタッフからインドネシア語で直接説明を受けていました。

研修生たちからは、リサイクルについての質問が多く出され、住民意識の変化や分別状況に興味を示していました。



▲研修に訪れたインドネシアの教育関係者